

(様式3)

会議の開催結果について

1 会議名	河内長野市学校保健会
2 開催日時	令和2年2月10日(月) 14時00分から
3 開催場所	河内長野市役所 3階 301会議室
4 会議の概要	① 令和元年度学校保健事業実績について ② インフルエンザの予防について ③ 令和2年度学校保健事業予定について
5 公開・非公開の別 (理由)	公開 (一部個人情報を扱う時には非公開)
6 傍聴人数	0 人
7 問い合わせ先	(担当課名) 教育指導課 (内線 755)
8 その他	

*同一の会議が1週間以内に複数回開催された場合は、まとめて記入できるものとする。

令和元年度 第2回河内長野市学校保健会 (報告)

日 時 令和2年2月10日(月)午後2時00分～午後3時05分

場 所 3階 301会議室

委員の欠席 西村委員・永井委員

事務局出席 生田課長・小関

議題

1、令和元年度学校保健事業実績について

【事】①第1回市学校保健会以降の学校保健事業について報告。

10月 秋季尿検査、10月下旬から11月にかけて来年度入学予定の就学時検診

12月12日市学校保健会研修会を開催

②心臓検診後精密検査結果、及び腎臓精密検査結果集計について説明

③教職員の麻しんのり患等に関する調査結果について報告

【薬】①今年度の研修会についての報告

12月12日(木) 実施 参加者 51名

演題・講師

「献血の現状について」

大阪府赤十字血液センター南大阪事業所 辻 亨 氏

「いただいた命のバトン」～私の骨髄移植体験記～

NPO法人関西骨髄バンク推進協会 浅野 祐子 氏

②学校環境衛生結果報告(飲料水、照度検査)照度について、少し暗いところもあるが、今後蛍光灯が使えなくなっていくので、すぐに蛍光灯を追加するなどにはできないであろう。

現在、教室の空気検査実施中であるが、実施した学校ではエアコンを使用しているが、炭酸ガスは石油ストーブよりかなり少ない結果であった。

【医】麻しんについて

麻しんは、病原性が高く、1人から20人に感染させるほど感染力も強い。

また、合併症で脳炎(1000人に1~2人)を起こすと致死率が15%になる。

麻しんの予防は、予防接種が有効で、2回の接種で99%で抗体ができる。り患歴のない場合は、「学校における麻しん対策ガイドライン」に沿った対応が必要である。

2、インフルエンザの予防について

～幼小中学校での予防について～

- 【幼】幼稚園では、基本的習慣として、手洗い、うがいと乾布摩擦を実施している。インフルエンザ予防としては、加湿器による部屋の湿度の維持、1時間に5分の部屋の換気、お弁当・おやつ・鼻かみ後・共用おもちゃの消毒、咳エチケットの推進など(兄弟姉妹がり患した時もマスク着用)。
- 【保】(小) 自分自身で身を守ることができるよう指導。給食前に手洗いの放送、発育測定時に養教からの指導、児童保健委員会からの予防の呼びかけ等行っている。暖房をエアコンでしているので、加湿に課題があると感じている。
- 【養】(小) マスクを忘れてきた児童には、学校から配付している。
- 【保】(中) 生徒に対しては、手洗い、うがいについて朝、昼休みに放送での呼びかけ、ポスター作成掲示。保護者向けには、保健だよりで啓発している。また、今年度は、3年生に加湿器を設置された。
- 【養】(中) 石けんをポンプ式にして、手洗いをきちんとする生徒が増えたと思う。暖房はエアコのため、乾燥が課題で、毎時間換気を行ったり、濡れタオルをかけ、週末には洗濯するなどの工夫をしている。また加湿器の衛生面が気になっている。
- 【校】今年度、購買の積立金の使途をPTA運営委員会に諮り、加湿器を購入し、中学3年生と支援学級に設置した。ストーブでの暖房ではあるが、50~60%の湿度を維持している。衛生面にも気を付け、1か月に1度のフィルターの掃除と毎日水の入れ替えをしている。

～三師会からの助言～

- 【医】インフルエンザは、例年に比較し少ない傾向で、検出されているウイルスは、2009年に流行したAH1ウイルスが91%である(今は季節性インフルエンザの一つ)。合併症として急性脳症になる確率は7~8%ある。ワクチンは、感染後に発症する可能性を低減させる効果と発症した場合の重症化防止に有効と報告されている。有効率は60%(ワクチンを受けないでインフルエンザにかかった患者の6割は、受けていればインフルエンザにかからずに済んだという意味)。
- マスクは、風邪をひいている人が、ウイルスを拡散させないためには有効。学校から問い合わせのあった市販されている空間除菌薬については、有効性はあまりないという研究結果が出ている。
- 【歯】口の中は、さまざまな細菌があり、体の中で一番汚い場所だと言われている。その口腔内の細菌がインフルエンザウイルスの細胞内への侵入を促すと言われている。歯磨きをすることで、その可能性を下げるができる。高齢者施設では、歯みがきにより、インフルエンザの発症率を下げたという発表もある。学校でも食後の歯みがきを推進してほしい。
- 【薬】「空間除菌薬」について、部屋に置くタイプでは、空気中に浮遊する塩素イオン

が、皮膚が敏感であったり喘息の児童生徒への影響が心配だ。容器があやまって倒れた時、目や口に入った場合の対処も必要となり、もし学校に持参した場合の周囲の児童生徒への影響がないとは言い切れない。

またアルコール消毒をスプレーで噴霧した場合、逆にウイルスを飛ばし蔓延させる恐れや皮膚の敏感な児童生徒の肌荒れの心配がある。アルコールは、布などに浸して拭くことで消毒することが適当である。

エアコンでの暖房は、時間を追うごとに乾燥していく。加湿は教室に1台で十分か疑問ではあるが、加湿することは予防には有効である。

【医】新型コロナウイルスは、現時点では、中国以外では増加は急激ではなく、致死率は2.1%ほど。(武漢では4%)

現時点では、感染を疑う場合は、「帰国者・接触者相談センター」(保健所)で受付、「帰国者・接触者外来」(感染症指定医療機関、大阪府下で6か所)で受診することになっている。学校での対応は、文科省からの通達、河内長野市の感染症の把握と対応の流れのとおり。感染症対策の基本は、「手洗い」「マスクの着用を含む咳エチケット」である。マスクは使い方によっては汚染源にもなるので、マスクの面を手で触らないよう気をつけること。

【歯】(低ホスファターゼ症について情報提供)4歳までに乳歯が抜け落ちることがあり、発見されることがある。早期に発見することで、治療につなぐことができる。

3、令和2年度学校保健事業予定について

現在日程調整中。

【医】医師会	【歯】歯科医師会	【薬】薬剤師会
【保】保健主事	【養】養護教諭	【事】事務局
【幼】幼稚園	【校】校長会	